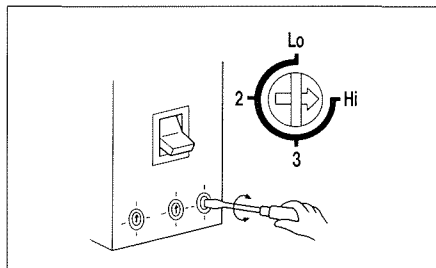


4. 熱動一可調整電磁形 ■熱動一電磁形で電磁動作の動作電流値を可変できるようにしたものです。

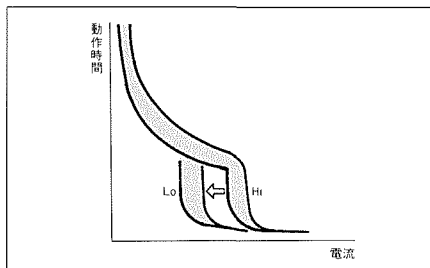
●電磁動作電流の調整方法



HI から LO まで 4 段階もしくは 5 段階に調整できます。

各極とも同一位置に合せて下さい。

●熱動一可調整電磁形の動作特性



工場出荷時は HI の位置に合せております。

●メリット

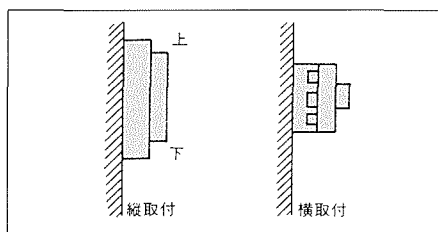
電磁動作(瞬時引外し)電流値を可調整にすることにより、電動機等の始動電流では動作しないように、またトランス一次側の電力ヒューズとの協調、下位の遮断器との保護協調等を容易に実現することができます。

(注意)

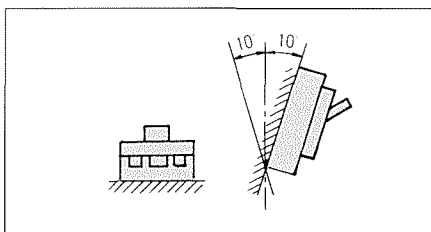
1200A フレームまではカバーに調整ダイヤルがついていますが1600A フレーム以上は遮断器内にありますのでカバーをはずして調整してください。

取付方向

■良い例



■悪い例(完全電磁形)



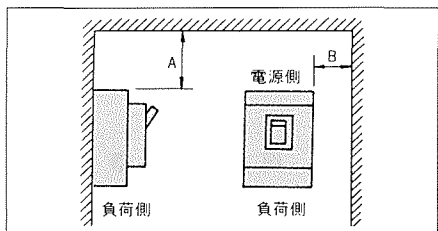
■ご注意

遮断器は鉛直面取付が基本です。

熱動形、熱動電磁形のものは、その他の取付面でも問題はありません。

完全電磁形のものにおいては、鉛直面取付(10°以内)以外の取付では特性が変化しますので、ご注意下さい。

アークスペース



フレームサイズ	最小寸法(mm)	
	A	B
75AF以下	30	25
100～250AF	50	40
400～1200AF	80	50
1400AF以上	150	100

■ご注意

遮断器が大電流を遮断したとき、電源側の排気孔からアークガスが噴出します。この排気孔のすぐ近くにしゃへい物や導電材がありますとこの部分でアークによる短絡や、地絡事故を起す可能性があります。このため遮断器取付にあたっては左表に示すアークスペースが必要です。

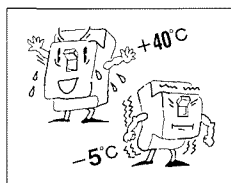
周波数による特性変化について

高周波電流(400Hz、750Hz等)で使用される場合、うず電流、表皮効果、ヒステリシス損等による発生熱は熱動形でも影響があり400Hzでは時延引外し電流が約80%に低減されます。また、鉄損による吸引力低下により瞬時引外し電流は大きくなり、400Hzでは60Hzの約2倍程度になりますので使用にあたってはご注意下さい。

完全電磁形においては可動鉄心における発熱、うず電流損による吸引低下等により使用はできません。

JISC8370 標準使用状態とは

■周囲温度は最高+40℃、最低-5℃の範囲内。ただし24時間の平均値は+35℃を超えないものとする。

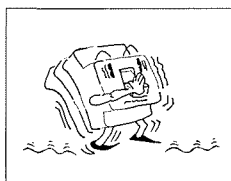


■相対湿度は45～85%の範囲内。

■過度の水蒸気、油蒸気、煙、じんあい、塩分、腐食性物質等が存在しないふん囲気。

■標高は2000 m 以下。

■異常な振動及び衝撃を受けない状態。



適合圧着端子一覧表

型式	定格電流	適合圧着端子
B-33ME B-33E B-32EA	15A	2-5
	20A	3.5-5
	30A	5.5-5
B-53E B-52EA B-53S	40A	14-5
	50A	14-5
B-63E	60A	22-6S
B-103E B-103S	50A	14-8(付属)
	60A	22-8(付属)
	75A	22-8(付属)
	100A	38-8S(付属)
B-123E	125A	CB60-8(付属)
B-153E	150A	CB60-8(付属)
B-223S	125A	CB60-8(付属)
	150A	CB60-8(付属)
	175A	CB80-8(付属)
	200A	CB100-8(付属)
B-253E	225A	(専用圧着端子付属)
	250A	CB150-8(付属)